

巻頭言

就任のご挨拶



＜放射線技術部 高橋 俊行 技術部長＞

本年4月1日より放射線技術部 技術部長を拝命いたしました高橋俊行(たかはしとしゆき)と申します。昭和大学江東豊洲病院・藤が丘病院勤務を経て、昨年度9月より横浜市北部病院に勤務しております。

当院 放射線技術部は、一般X線装置、X線CT3台、MRI2台、IVR3台、ガンマカメラ、放射線治療装置、PETCTを有し、横浜市の地域中核病院として素晴らしい設備となっております。それらの装置を用いて、診療放射線技師35名で業務を行っています。

加藤統括放射線技術部長の御指導のもと、昭和大学の8病院1クリニックの放射線技術部と足並みを揃えながら運営を行っています。統括放射線技術部の理念である、「やる気と元気と情熱と」を体現すべく、「情熱を鍛えて育てる」「厳しく愉快地に」をモットーにして日夜励んでおります。また、今年度の当院放射線技術部は「和衷協同」(わちゅうきょうどう)をスローガンとしています。これは、「心を同じくして共に力を合わせ、患者本位の医療を行っていきましょう」というメッセージを込めております。全員が、全ては患者さんのために行動できる、診療放射線技師を目指しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染対策を実施しながら業務を行っています。特に、ポータブル業務とCT撮影業務は件数が増加したため、待ち時間等が発生し、患者さんや各診療科の先生にご迷惑をお掛けしていますが、感染防止第一のため、ご理解いただけますと幸いです。

また、3密を避ける目的で、放射線技術部内での会議や毎週のカンファレンスはWeb会議・Webカンファレンスで実施しております。臨床はもとより、教育・研究もCOVID-19で足が止まらぬよう、新しい場や方法を模索し実施しております。

昭和大学の建学の精神は「至誠一貫」です。まごころをもって診療に当たり、建学の精神を体現できるよう邁進して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



- P1. 【巻頭言】 就任のご挨拶
- P2・3. 【医学講座コーナー】 脳血管障害について
- P4. 【お知らせ】 診察予約WEBフォームが新しくなりました
【お知らせ】 がん患者サロン・がん相談支援センターについて
- P5. 【患者さんからのご意見・ご要望】
- P6. 【TOPICS】 当院へのご支援の御礼/ 【編集後記】

医学講座コーナー 脳血管障害について

(内科(神経) 金野 竜太 講師)

はじめに

脳血管障害(脳卒中)とは、脳の血管の病気の総称であり、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などが含まれます。脳卒中は現在、日本人の死因第4位です。近年、医療技術の進歩もあり脳卒中による死亡者数は年々減少しておりますが、重度になれば生命を脅かす病気です。また、後遺症によりベッド上での生活を余儀なくされることもあります。

脳血管障害の種類

種類は大きく分けて
出血性脳卒中と虚血性脳卒中に分類されます。

●出血性脳卒中

脳血管が破れることにより発症します。
大きく分けて以下の2つがあります。

1. 脳出血

主に高血圧が原因で脳の血管が破れ、
脳の中に出血が起きる病気です。

2. くも膜下出血

脳は外側から硬膜、くも膜、軟膜で覆われています。
脳動脈瘤の破裂や先天的な脳血管の異常による破裂で、
くも膜と軟膜の間出血を起こす病気です。

●虚血性脳卒中

脳の血管が狭くなったり、詰まったりして脳内の血流が悪くなり、脳に障害が起こります。これを主に脳梗塞といいます。大きく分けて以下の3種類があります。

1. ラクナ梗塞

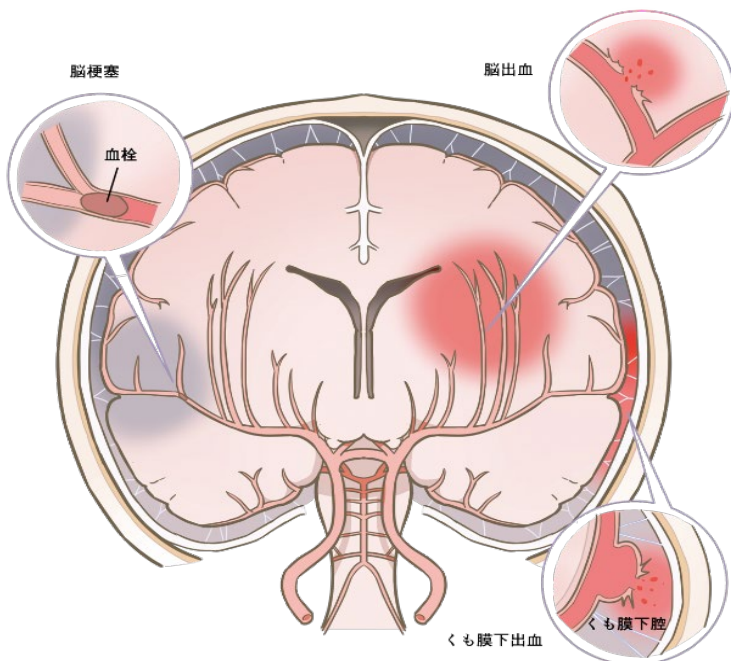
高血圧の方が発症しやすい脳梗塞です。細い血管が詰まることにより発症します。症状は軽度の場合が多いですが、繰り返し発症するとパーキンソン病の症状や認知症の症状を引き起こすことがあります。

2. アテローム血栓性脳梗塞

動脈硬化が原因で発症する脳梗塞です。太い血管が詰まることにより発症します。症状の現れ方が比較的ゆるやかなので、大発作を起こす前に治療できるケースが多くなっています。

3. 心原性脳塞栓症

主に不整脈などにより心臓内にできた血栓が脳の血管まで流れてきて詰まり、血流を止めます。この発作は突然起こり、重症化する傾向があります。



医学講座コーナー 脳血管障害について

脳卒中の危険因子

多くの危険因子が知られています。年齢（加齢とともに血管が詰まりやすくなります）、性別（脳卒中全体では、男性は女性の約 2 倍多く発症します。また、くも膜下出血は女性に多くみられます）など、自分で管理できないものもありますが、自分で管理できる危険因子もあります。

●疾患

高血圧：脳出血だけではなく脳梗塞の原因になります。

糖尿病：動脈硬化を促進し脳梗塞の要因となります。

心臓疾患：心房細動などの不整脈や心臓弁膜症があると脳塞栓の要因となります。

血液の異常：脱水状態や多血症になると血栓ができやすくなります。

●生活習慣

肥 満：高脂血症や高血圧を引き起こしやすく間接的な危険因子となります。

飲 酒：大量の飲酒は脳卒中の要因となります（日本酒 1 合程度であれば問題ないです。）

タバコ：脳梗塞の危険因子となります。

ストレス：血圧を上げ動脈硬化を促進させます。

脳卒中を防ぐためには定期健診を受けて各種疾患の早期発見・早期治療に努め、生活習慣を改善して危険因子をできるだけ減らすことが大切です。

脳卒中の前ぶれ症状

脳卒中は大発作が起これば死に結びつきます。また、一命を取り留めても後遺症を残しやすい病気です。発作を未然に防ぐためには前ぶれ症状に気づいて対処することが大切です。

●脳出血

明らかな前ぶれ症状はありません。脳出血の原因である「高血圧」が前ぶれ症状ともいえます。特に収縮期血圧が 180 mm Hg 以上の重症の高血圧になると、男性では脳出血の発症率が急増します。

●くも膜下出血

前ぶれ症状はほとんどありませんが、これまでに経験したことのない「突然の激しい頭痛」があったらすぐに受診をしましょう。血縁者に発作を起こした人がいる場合は自分にも可能性のあることを自覚して、脳血管 MRA などの検査を受けておくことが大切です。

●脳梗塞

前ぶれとして一過性に脳卒中の軽い発作を起こすことがあります。一過性脳虚血発作（TIA）と呼ばれます。様々な症状がありますが、代表的なものに以下のものがあります。

1. 運動麻痺：片方の手足・顔半分の麻痺
2. 言語障害：ろれつが回らない、言葉が出ない、話が理解できない
3. ふらつき：力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする
4. 一過性黒内障：片方の目が急に見えなくなる

これらの症状は 5～10 分程度で治まることがありますが、いずれ脳梗塞が起きる危険があることを知らせる重要なサインです。もし「普段と違う」「何か変だ」と思ったら救急車を呼ぶようにしましょう。一過性脳虚血発作とわかった時には、予防的治療やライフスタイルの改善などで脳梗塞を起こさないようしっかり予防していきましょう。

診察予約 WEB フォームが新しくなりました

当院ホームページの診察予約 WEB フォームが新しくなりました。

「紹介状をお持ちの初診患者さん」および「再診患者さん」は WEB フォームから診察の予約ができます。「紹介状をお持ちでない初診患者さん」は WEB 予約フォームから診察予約をしていただくことは出来ません（紹介状がない初診予約は取り消させていただきます）。

診察予約 WEB フォームでは、新規予約だけではなく、予約変更や予約のキャンセルも承れますので、ぜひご利用ください。

なお、平日（月～金）の 15 時までに予約を受け付けたものは、当日中に回答いたします。

予約について

【電話予約】

予約センター

初診:045-949-7143

再診:045-949-7489

受付時間:月～金(平日)9時～17時

※祝祭日、創立記念日(11/15)、年末年始(12/29～1/3)を除く

【WEB予約】

紹介状をお持ちの初診患者さん、再診患者さんはWEB予約が可能です。

▶ [WEB予約24時間受付中](#)

【診察予約 WEB フォームの使い方】

当院ホームページのトップページ左下、「予約について」に診察予約 WEB フォームのリンクがあります。

(<https://www.showa-u.ac.jp/form/form010.html#/>)



がん患者サロン・がん相談支援センターについて

■がん患者サロン「きぼう」開催中止について

当院では、がん患者さんやご家族が悩みや不安を分かち合い、気軽に集う語らいの場として、がん患者サロン「きぼう」を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月までの開催を中止することとなりました。4月以降の開催については、現在のところ未定ですので、改めてお知らせいたします。

■がん相談支援センターについて

がん専門相談員（看護師等）が、患者さんやご家族からのがんに関連した質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

※当院を受診されていない方の相談もお受けしています。

受付時間：月～金曜日（祝日除く）

8：30～17：00

場 所：中央棟 1 階 総合相談センター・がん相談支援センター

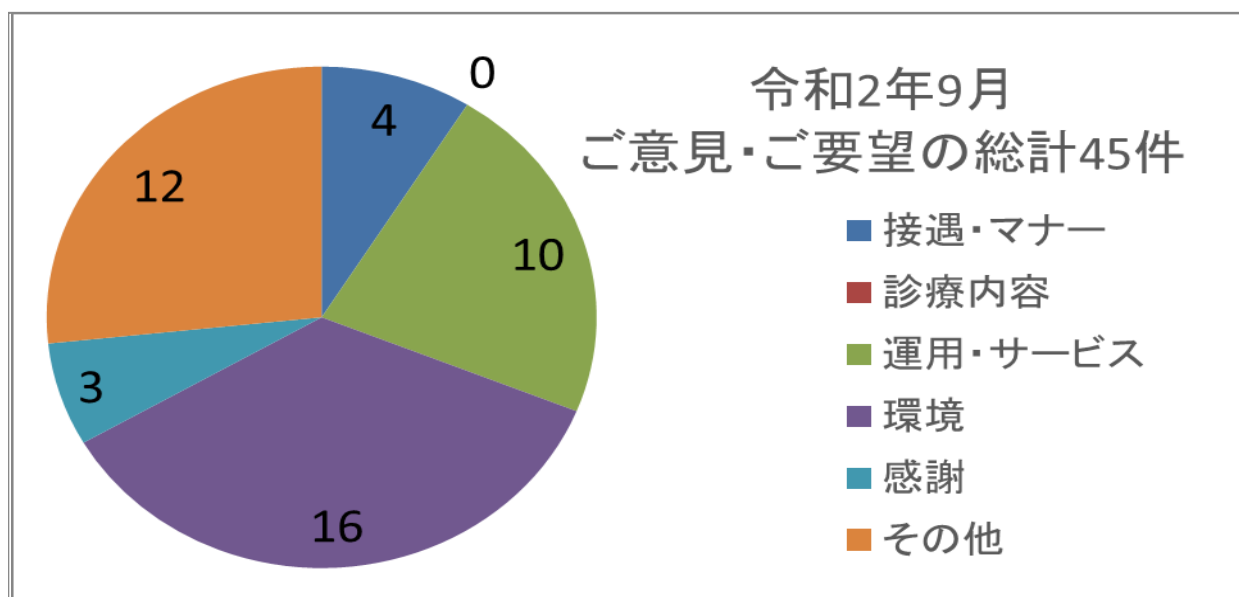
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
駐輪場のスペースを広くしてほしいです。 また、自転車とバイクを分けることはできませんか。	ご意見ありがとうございます。 駐輪場のスペースを広げるのは現状難しいですが、自転車とバイクの場所を分ける点につきましては、今後検討させていただきます。
病棟シャワー室に、ハンドソープをお願いします。	この度は、シャワー室の設備に関する説明が不足し、大変申し訳ございませんでした。 当院では感染管理上、入浴・手指消毒に関する共有物品はシャワー室には設置しない運用となっております。 手を洗う際には、各病室の洗面台にハンドソープを常備しておりますので、そちらをご利用ください。 ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
朝食は6～7時、夕食は19時以降にしてほしいです。 午前透析の日は、朝食時間が短い上に昼食が15時になってしまい、困っています。	ご意見ありがとうございます。 食事の提供時間につきましては、国で定めたルールがありますが、ご要望に沿った形で対応できる場合もありますので、お気軽にお声掛けください。



当院へのご支援の御礼



＜ご寄付いただいたお弁当とお弁当を受け取ったりハビリテーション室の職員＞

引き続き多くの方から当院にご支援をいただいております。
マスクやフェイスシールド、アイソレーションガウンをはじめ、飲食物や日用品のご寄付もたくさんいただいております。近隣の医療機関の方からは、お弁当のご寄付をいただきました。ご寄付くださった方々の温かいお心遣いがスタッフの活力となっております。当院へご支援くださった皆様へ、この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

なお、ご支援の詳細は当院ホームページでも掲載しております。

(<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>)

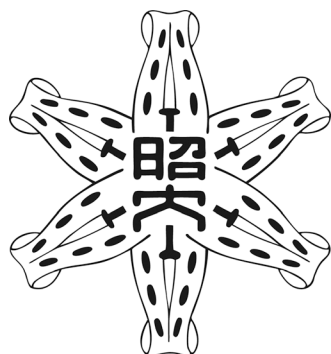
編集後記

11月15日は昭和大学の創立記念日です。今から92年前の1928年（昭和3年）に昭和大学の前身となる昭和医学専門学校が設立されました。その後、終戦翌年の1946年（昭和21年）に医科大学の設置認可を受け昭和医科大学となり、1964年（昭和39年）には昭和大学と名称変更しました。

本学の創立者にあたる上條秀介博士は、35歳の若さで昭和医学専門学校を設立しました。上條博士は、当時の医師の多くが、病気の見立てはできても、検査や治療は全くと言っていいほどできなかった状況を危惧し、社会や人の役に立とうとする仁の気持ち（至誠）を持った医療者を養成することが必要であると考えました。この意志は、昭和大学の建学の精神（「至誠一貫」）として現在まで引き継がれ、昭和大学の学生教育のみならず、医療現場においても礎となっています。

私もこの創立記念日を機に、建学の精神に立ち戻り、医療従事者としての「心構え」を再確認したいと思います。

（管理課 鉄）



北部病院だより 第149号
2020年11月1日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）
編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）
発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。